

令和3年度 第3回全国健康保険協会沖縄支部評議会議事概要

開催日時	令和4年1月17日 月曜日 15:00～17:00
会場	オンライン開催
出席評議員	奥村評議員、喜屋武評議員、米須評議員、篠崎評議員、下地評議員、仲宗根評議員、名城評議員、前田評議員、宮城評議員、(五十音順)
議題	【審議事項】 (1) 令和4年度都道府県単位保険料率について (2) 令和4年度沖縄支部事業計画(案)について (3) 令和4年度支部保険者機能強化予算(案)について 【報告事項】 (1) 介護保険の令和4年度保険料率について (2) 令和2年度インセンティブ制度の実績について (3) その他
議事概要 (主な意見等)	<u>審議事項(1) 令和4年度都道府県単位保険料率について</u> <u>報告事項(1) 介護保険の令和4年度保険料率について</u> 事務局より説明 【事業主代表】 保険料率について、令和2年度の医療費の伸びが大きかったというのも理解できるが、全国平均10.00%の保険料率を維持するという中で、この時期に沖縄支部が0.14%の上げ幅はやはり厳しい。沖縄支部がこの10%の保険料率を維持することは難しいのか。 【事務局】 平均保険料率は10%ということで設定はされているが、約半数は10%を超えているというのが現状。沖縄支部は長い間平均を下回った保険料率でこれまで推移してきたが、令和2年度の医療費の実績が、当初の予想よりもかなり上回ってしまった。その分の精算分として今回加算されて10%を超えた。対策として医療費そのものをいかに抑制するかということが重要となる。そのために特定健診、特定保健指導、重症化予防、ジェネリック医薬品の推進などインセンティブ制度の評価項目に取り組むことによって、保険料率減算の効果が出てくることを期待し、医療費抑制に努めていくしかない。またそれに向けて加入者の皆様に医療実績を抑制していくことの重要性をアピールするしかないと考えている。

【事業主代表】

10%を超えてしまったというのは、やはり企業としても、被保険者にとっても大変厳しい状況である。全国的に上がる支部のほうが多く、10%を超える支部が多いということで積極的な支持ではなく、やはりほとんどの支部がやむなしとのことでそれは皆で痛みを分け合うしかないのかなという印象である。

【学識経験者】

令和4年度10%を超えるという保険料率は非常にインパクトが大きい。過去平成27年から沖縄支部は10%を切っていたが、令和4年で10%を超えるとなると実務を普段担っている側からすると、インパクトが大きいという印象。先ほどの説明にあったように最高で11%の支部が出てくると伺っている中で、10.09%で抑えているというのは恐らく医療費の伸び率以上に沖縄支部がインセンティブ制度で努力している結果で、保険料率の上昇を抑えている方なのかなと思う。

【議長】

保険料率が上がるということは厳しいことではあるが、事務局の説明によりやむを得ないという状況を考えると、沖縄支部の令和4年度保険料率10.09%を了承ということによろしいか。

【評議員一同】

異議なし

審議事項（2）令和4年度沖縄支部事業計画（案）について

事務局より説明

【事業主代表】

早朝健診・ナイト健診の文言を削除するのはなぜか。非常におもしろい取り組みだと思うので理由をお聞かせいただきたい。

【事務局】

早朝健診・ナイト健診については医療機関が独自に行っているものと、私共が実施しているものがある。現在のところ受診者数として人数が多くないことから、支部の体制及び予算等から支部独自事業としては今回見送らせていただいた。医療機関が実施するものに関しては市町村と一緒に今後も実施し、その結果を確認しながら、今後支部として体制を見直し検討していくこととしている。

【被保険者代表】

特定健診の受診率を上げるということが事業計画に入っており、事業者健診データの取得を7.5%以上とするとしているが、事業所の健診データの取得はもう少し沢山取得できそうな気がするが、難しいもの

なのか。

【事務局】

事業者健診は、基本的には定期健診といい、労働安全衛生法上の健診となる。お勤めの方が対象となるため、できるだけ協会けんぽの実施する生活習慣病予防健診を受けていただきたいということが一つある。では、事業者健診（定期健診）となりが違うかと言うと、定期健診項目に加えがん検診等が追加されている健診となる。沖縄県でもがん患者が多いため、是非生活習慣病予防健診を受診いただきたいということから優先して受診勧奨を行っている。しかしながら運輸業に携わる方々等は、胃の検査でバリウムを飲んだり、胃カメラで鎮静剤を使用するため、健診後に仕事を行うことができなくなる。そういった方々は事業者健診（定期健診）を受診し、健診結果データをご提供いただきたいが、この健診結果データを提供いただくためにいくつか壁がある。一つに問診の提出。喫煙歴、服薬歴等を個別に提供いただく必要もあり、不要なデータを削除後、健診結果をデータ化し提供いただく必要もある。こういった点が事業所が協会けんぽへ提供することのハードルが高く提供いただくことが困難となっている。一昨年沖縄支部は2.2%と全国最下位で、昨年度は5.4%取得ができた。さらに取得率向上に取り組むが、生活習慣病予防健診は定期健診として扱うことができ、データの提供作業も不要になことから、できるだけ生活習慣病予防健診を中心に加入者へ働き掛けている。

【学識経験者】

後発医薬品の使用促進に関連して、昨年後発医薬品メーカーの不祥事で業務停止処分の影響で医薬品不足が指摘されていたと思うが、その影響はいかがか。

【事務局】

後発医薬品メーカーの不祥事で生産・供給が停滞しており、全国的には約3,000品目に影響し、在庫が間に合わないという状況が出ている。沖縄支部はもともと高い使用率で維持してきたので、供給が途切れることはないかと思うが、他支部では影響がでているという話は聞いている。新聞報道でも12月下旬に「後発医薬品の影響が長引く」という記事が出されていた。この記事によると在庫の解消にはまだまだ時間を要し、最大で2年程かかるとの記載があった。我々も本部経由で厚労省、他保険者と一緒に後発医薬品業界に安定供給及び早期改善を依頼している状況。沖縄支部ではインセンティブ制度の中において後発医薬品使用割合は実績が高い。その優位性を維持すべく、引き続き安定供給できるよう医薬品業界、医療機関、薬局にご協力をいただきたいと思っている。

【被保険者代表】

マイナンバーカードの保険証利用推進に協力するとあるが、実際どの程度使用されているのか。

【事務局】

マイナンバーカードによるオンライン資格確認については、昨年の10月からスタートした。医療機関・薬局にカードリーダーの設置をしていただくが、その申込は全国ベースで、約57%となり、利用率については低迷している。県内においても全国と同等の申込率かと思う。ある医療機関ではマイナンバーカ

ードによる資格確認は実施を控えているというポスターを掲示しているところもある。今後マイナンバーの保険証利用の登録の普及さらに利用促進を図り、医療機関及び保険者の事務負担軽減につなげたい。

【議長】

令和４年度沖縄支部事業計画（案）につきましては承認ということでしょうか。

【評議員一同】

異議なし

（３）令和４年度支部保険者機能強化予算（案）

事務局より説明

【事業主代表】

健康保険委員を対象とした事務説明会について現在の健康保険委員数及び登録事業所数を教えていただきたい。

【事務局】

直近の健康保険委員委嘱者数は２，６４４名。事業所数については２，４３６事業所となっている。令和４年度計画している事務説明会は、健康保険委員未登録事業所に対し、主には健康保険委員登録勧奨のための事務説明会を計画している。

【議長】

令和４年度支部保険者機能強化予算（案）につきましては承認ということでしょうか。

【評議員一同】

異議なし

報告事項（２）令和２年度インセンティブ制度の実績について

報告事項（３）その他

事務局より説明

特記事項	
------	--

傍聴者

- ・琉球新報
- ・宮古新報